

別紙様式 2 - 2

平成30年度特別支援教育に関する実践研究充実事業
 (次期学習指導要領に向けた実践研究)
 成果報告書 (概要)

受託団体名
横浜訓盲学院

1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
学校法人 横浜訓盲学院	特別支援学校	視覚障害	横浜訓盲学院 (よこはまくんもうがくいん)

2. 事業の実績

(1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
平成 30 年 7 月 23 日～27 日	P I 専門家 2 名招聘。4 名の盲ろう児 (2 歳～11 歳) の実践を見学・協議。「盲ろう児が触る、触られるときの配慮」の重要性について実地研修。	P I 専門家を招聘し、盲ろう児の実践の見学・協議ができた。
8 月～31 年 1 月	研修資料翻訳、欧州のアセスメント方法の調査。 本学院盲ろう教育実践のビデオの収集を編集。	調査ができた。 収集と編集ができた。
31 年 2 月 11 日	研究協議会開催。パーキンス盲学校における盲ろう教育とアセスメント ー盲ろう児の興味関心を土台にして築き上げることー	研究協議会を開催し、研究協議ができた。
3 月 24 日～29 日	中澤学院長、パーキンス盲学校見学、アセスメント・教育実践・I E P について情報収集と研究協議。次年度の P I 研修内容について協議。	訪問し、見学および情報収集と研究協議ができた。

(2) 研究課題

盲ろう幼児・児童・生徒の自立活動とアセスメントについて、盲ろう教育について高い専門性を持つパーキンス盲学校国際部門 (P I) との連携を通して研究する。

(3) 研究の概要

盲ろう児には標準化されたアセスメント・ツールはないことがアメリカおよび欧州の文献等から確認された。かわりに、子どもが安心してしている状態で、今現に関心を示していること、現に行っていることに評価者が導かれ、関わりを展開することが盲ろう児の実態把握への効果的な取り組みとされる。これは「子どもに先導されるアセスメント (Child-Directed Assessment)」と称

される。

評価者はいくつかの視点を常にもって係る。たとえば「コミュニケーション」を評価する場合は、「コミュニケーションの形態（体の部分に触るタッチ・キュー、実物シンボル、絵、身振り、手話、スピーチ、文字、点字等々）」「機能（要求、拒否、名づけ、報告等々）」「社会的交流（愛着関係、やりとりを自分から始められるか、共同注意の発現およびその維持、役割交代等々）」、「他者の感情に気づいているか、自らの感情発現が他者におよぼす影響に気づいているか」、「自分以外の他者が近くにいるか、何をしているか分かるか、関心をもつか」等々である。言葉やサインを教えるといわず「会話をする」という方向性が根底にある。

なお、アセスメントだけでなく、教育活動の組み立てにも同様な方針がある。1. 盲ろう児に係る人および出来事の一貫性とルーチンの有効性、2. 子どもの興味関心に従い授業を組み立てる、3. 選択できる機会を用意する、4. 授業では「本物」を使って、「子どもにとって意味のある活動」を行う、5. 自立を奨励する、6. 家族とパートナーになる。

(4) 研究の成果

盲ろう児のアセスメントについては、標準化されたアセスメントがない。替りに、当該盲ろう児が安心してしている状態で、盲ろうがもたらす困難を理解している評価者が、いくつかの視点をもって関与型観察をする「子どもに先導されるアセスメント (Child-Directed Assessment)」が行われている。盲ろう教育の中核となる課題の一つであるコミュニケーションについては、1 観察に必要とされる視点と配慮、2 「盲ろう」という障害がコミュニケーションにもたらす困難の理解、3 「コミュニケーション」は何から成り立っているか、4 盲ろう児にとって豊かな人間関係や生活につながるコミュニケーションはどのような特質をもつか、5 「当該児童に適したコミュニケーション方法は何か」などが整理されてきた。

これらの知見は、本学院における盲ろう教育に活かす実践を進めていく。

さらに、「本物」を使った、「盲ろうにとって意味のある活動」はすでに授業に取り入れ、毎週一回一時間、「調理」に取り組むこととした。やはり盲ろうの生徒にとって、調理の過程の意味がわかり、結果に対する高い動機づけもあり、多面的な学びがある授業となっている。

(5) 課題と今後の方策

引き続きアセスメントについては理解を深めていき、その成果を具体的な実践に活かして蓄積していく。

本物をつかった「調理学習」を継続し、盲ろう教育における意味を整理する。

来年度は新たに「ルーチン」活動がもつ盲ろう教育への意義と、

盲ろう教育では広く使われている「カレンダーワーク」が時間の理解におよぼす効果等を整理する。